

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 19 年 9 月 18 日 (火) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	EB ウイルス抗体 (EBV)		
	抗 VCA IgG	抗 VCA IgM	抗 EBNA IgG
検査コード	6944	6946	6948
検体量	血清 0.3 mL		
容器・保存	A1 A2 ・ 冷蔵		
実施料 (判断料)	230 点 (免疫)		
所要日数	2 ~ 4 日		
検査方法	EIA 法		
基準値	0.5 未満 (-)		
判定基準	判定 : 抗体指数 (-) : 0.5 未満 (±) : 0.5 ~ 0.9 (+) : 1.0 以上		

保険収載名称 : グロブリンクラス別ウイルス抗体価精密測定

保 険 注 釈 : ア . グロブリンクラス別ウイルス抗体価精密測定は、下記の項目のウイルスの IgG 型ウイルス抗体価又は IgM 型ウイルス抗体価を測定した場合に算定する。

水痘ウイルス 風疹ウイルス サイトメガロウイルス EB ウイルス
麻疹ウイルス ムンプスウイルス ヒトパルボウイルス B19

イ . 同一ウイルスについて IgG 型ウイルス抗体価及び IgM 型ウイルス抗体価を測定した場合にあっては、いずれか一方の点数を算定する。

ウ . ウイルス抗体価と併せて測定した場合にあっては、いずれか一方の点数を算定する。

注 同一検体についてグロブリンクラス別ウイルス抗体価精密測定を行った場合は 2 項目を限度として算定する。

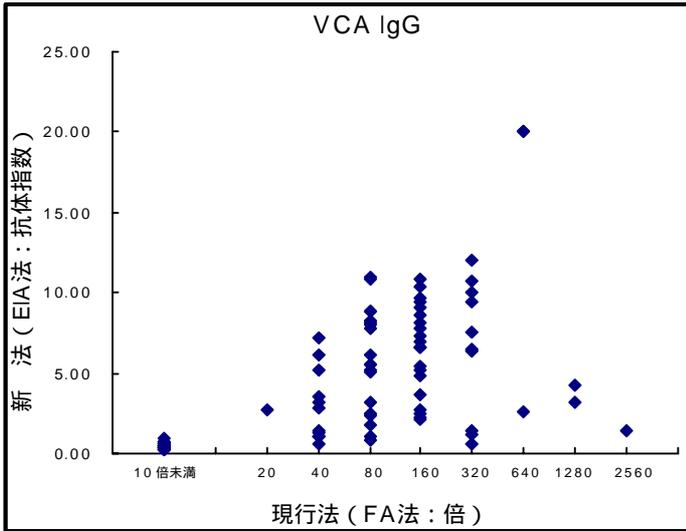
《 解 説 》

本検査 (EIA 法) は、FA 法に比べ高感度であり、伝染性単核症などの EBV 感染症の診断に有用です。
また、二法 (VCA IgM・EBNA IgG) および三法 (VCA IgG・VCA IgM・EBNA IgG) を実施することにより診断確度が高まります。

《 追 記 》 本検査 (EIA 法) は、FA 法に比べ 報告日数が短縮 されます。

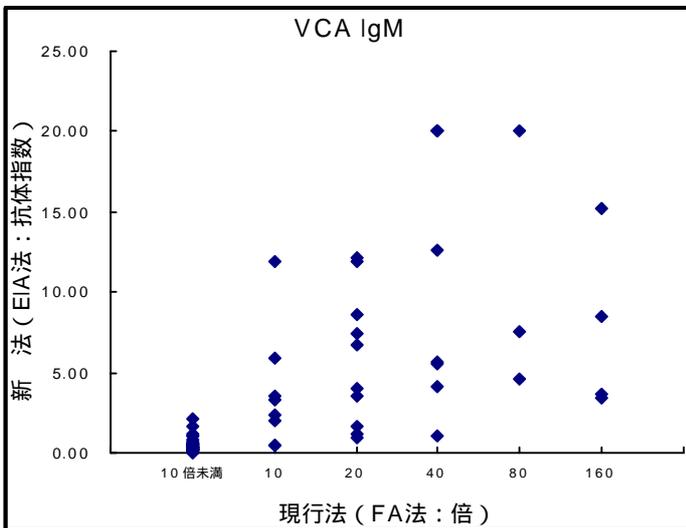
《 補足資料 》

--- FA 法との相関と一致率 ---



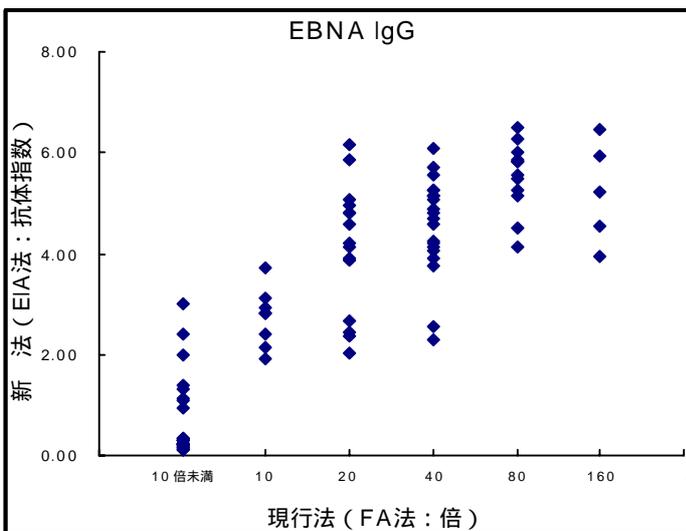
VCA IgG		FA法		
		+	-	計
EIA法	+	64	0	64
	±	3	9	12
	-	0	13	13
	計	67	22	89

一致率 : 77 / 89 = 86.5%



VCA IgM		FA法		
		+	-	計
EIA法	+	31	5	36
	±	1	6	7
	-	1	36	37
	計	33	47	80

一致率 : 67 / 80 = 83.8%



EBNA IgG		FA法		
		+	-	計
EIA法	+	60	7	67
	±	0	1	1
	-	0	17	17
	計	60	25	85

一致率 : 77 / 85 = 90.6%

FA 法の抗体価に対して EIA 法の値が広範囲に渡っているため、EIA 法の結果から FA 法の抗体価を推定することはできません。